

# 【テーマ】「DX推進を図るためのワークショップ」 ～大学現場のDXの課題・施策を考える～

【主催】大学経営・情報化戦略分科会

活動報告

日時：2021年11月9日（火）14:00 -17:00  
場所：オンライン開催（Webex Meetings）  
出席者：36名

## 1. 研究内容

私立大学キャンパスシステム研究会（以下CS研）の2021年度活動テーマは『キャンパス×デジタルトランスフォーメーション ～持続可能な大学を考える～』です。今年度活動を通して会員の皆様と大学におけるDXについて考えていきたいと思えます。

今年度2回目となる勉強会はワークショップ形式にて開催しました。参加いただいた大学様のDX取組み状況はさまざまです。各大学間の垣根を超えてDXをすすめるうえでの課題の抽出や、DXをすすめるうえでの施策などを討議することにより、参加者にとってDXを考えるうえでのヒントを得るきっかけの場となったかと思えます。

## 2. スケジュール

- 14:00 ワークショップ開始  
・ワークショップの進め方全体説明
- ・グループ作業  
－グループ討議の手順の確認  
－各大学の状況、課題の共有（DX推進に向けたフレームワークを使用）  
－共通テーマでの意見交換、討議  
－討議結果の整理
- （休憩）
- 16:00 ・全体発表  
－各グループからの発表、他チームへの質問  
－質疑応答、意見交換  
・富士通フィールド・イノベータからDX支援の情報提供、事務局からの連絡
- 17:00 ワークショップ終了

### 3. 参加校 [8校10名] ・参加企業[3社26名] ・参加総数[36名]

関西大学[1]  
関西国際大学[1]  
芝浦工業大学[1]  
清泉女子大学[1]

摂南大学[1]  
専修大学[3]  
流通科学大学[1]  
立正大学[1]

株式会社富士通総研[3]  
富士通株式会社[1]  
富士通Japan株式会社[22]

### 4. 所感（大学経営・情報化戦略分科会）

今年度2度目の本分科会では、DXの理解を深め基本を学ぶ目的で次世代情報システム検討分科会と大学経営・情報化戦略分科会との合同で行った1回目のアンケート等を踏まえ、DXをすすめるうえでの課題の抽出や、DXをすすめるうえでの施策などの討議を行いました。参加者の方々の大学に於けるDXの取り組みも違う事から、同じような状況にある大学を一つのグループとし、グループ討議を中心に進めました。さらに議論が分散しないよう富士通フィールドインベーターにファシリテーションと進行をお願いし、成果を残せるよう進めてもらったことで他大学の事情もつかいながら自大学の今後の取り組みにヒントとなる大変有意義な討議となりました。アンケート結果をみても、参加者の年齢層や参加目的などが幅広かったにも関わらず、満足度は77.8%と比較的高かったと思います。反面、十分な討議を行うには時間が足りなかったとの声も多く、DXの関心の高さとともにCS研としてもDXについては長期的に継続した意見交換が必要であると感じたので、今後も継続していきたいと思っています。

#### 【ワークショップの様子】



#### 【事務局より】

次頁以降に開催後アンケート結果（抜粋版）を記載しています。

開催後のアンケート結果について、詳細版をご覧になりたい方は、「[CS研・IS研情報交換サイト](#)」に掲載しておりますのでそちらをご覧ください。また、今回の分科会開催に際し、事前アンケートを行っています。事前アンケート結果につきましても、「[CS研・IS研情報交換サイト](#)」に掲載しております。

#### 「CS研・IS研情報交換サイト」について

○CS研・IS研の会員向けに情報・資料をご提供し、会員の皆様が情報交換をするサイトです。

URL : <https://www-std01.ufinity.jp/csiken/>

○情報交換サイトをご覧になるにはIDとパスワードが必要となります。お持ちでない場合は以下のサイトにてお申込みください。

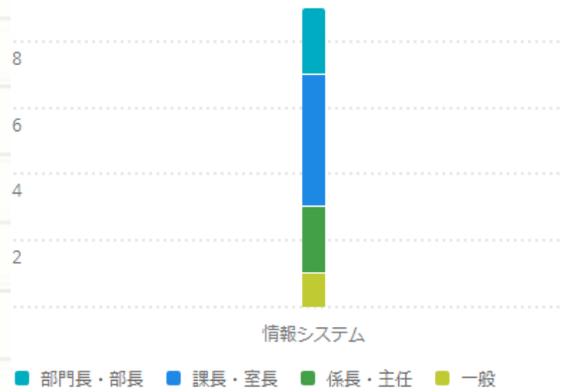
お申込みサイト : <https://seminar.jp.fujitsu.com/public/seminar/view/46757>

#### 【連絡先】

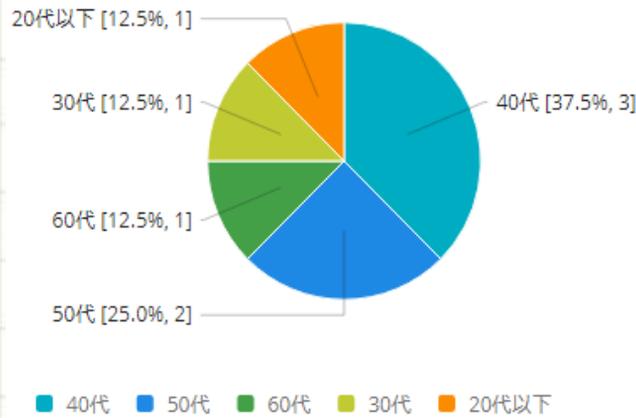
私立大学キャンパスシステム研究会 事務局  
〒105-7123 東京都港区東新橋1-5-2 汐留シティセンター  
富士通Japan株式会社 デマンド創出・カスタマリレーション部内  
E-mail : [fj-csken-secretary@dl.jp.fujitsu.com](mailto:fj-csken-secretary@dl.jp.fujitsu.com)

# 開催後アンケート結果 【回答数／対象者数：9／10（大学関係者のみ）】

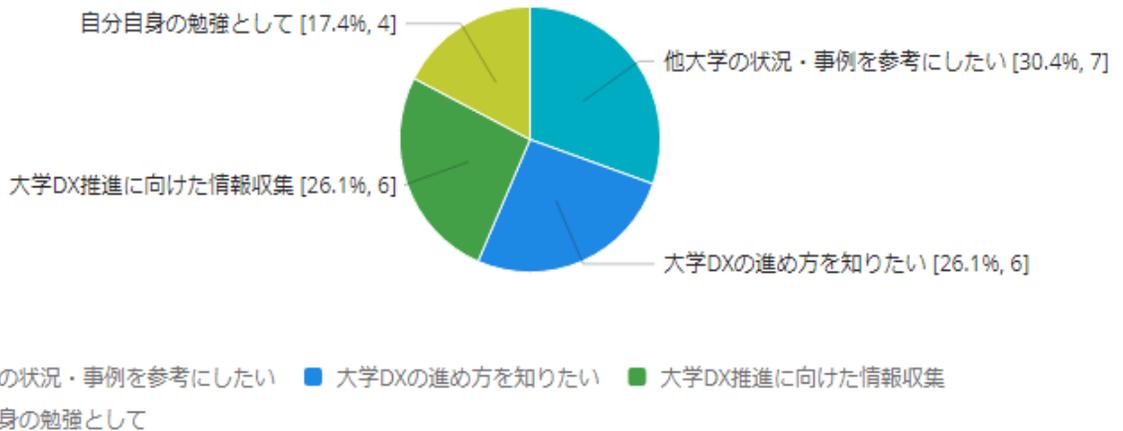
## ■ 担当業務と役職について



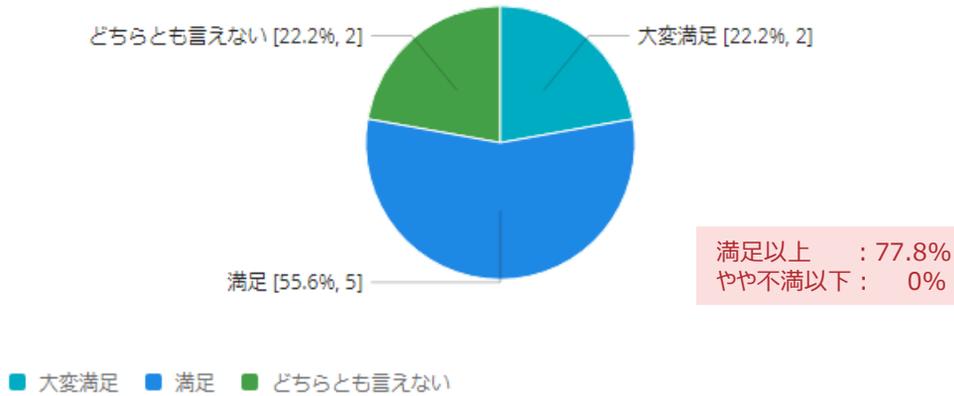
## ■ 参加者の年齢層について



## ■ 参加した目的について



## ■ 本日の分科会の全体満足度



## ■ 全体満足度の評価理由について

### ■ 他大学との課題・状況の共有

- 各大学でDX推進に向けて直面する課題を共有し、同じ課題で頭を悩ませていることを知り、課題解決に向けた意見交換ができたことがよかった。
- 他大の考え方が参考になった。
- 他大学での取り組み、悩みの共有、そしてアドバイスをいただける場があるということは 非常にありがたいと思う。

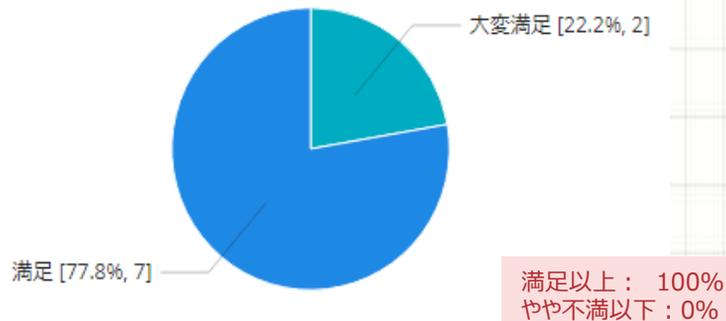
### ■ 時間の不足

- 期待していたレベルの議論を行うことができたが、具体的な内容を議論するには少し時間が足りなかったと感じた。
- 結構長い時間討議できた。でもまだ足りないと思う。
- 今回のような流れで進める場合、テーマ等の整理、各大学の状況整理をするには圧倒的に時間が足りないと感じた。

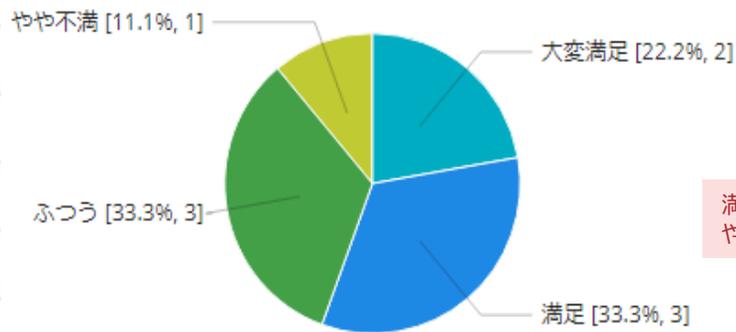
### ■ その他

- 成果物としてまとめた資料を作ることが出来た

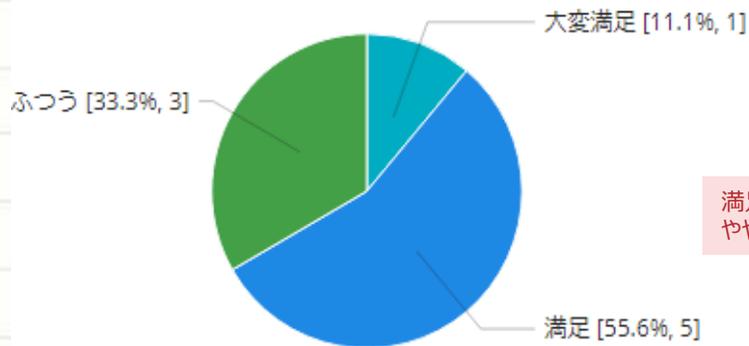
## ■ 開催テーマについて



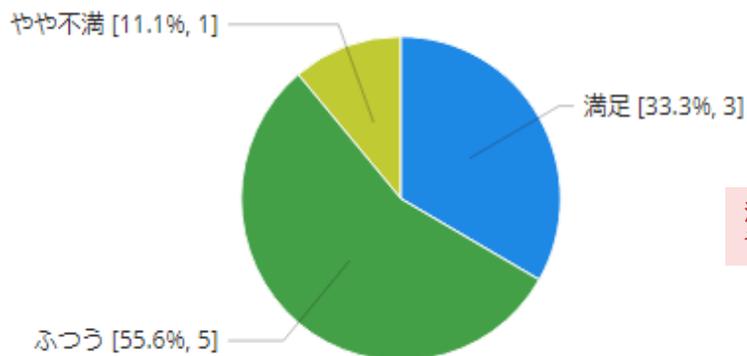
■ワークショップの内容について



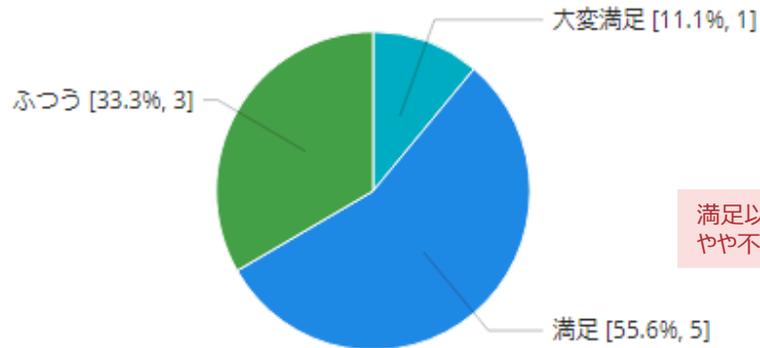
■フィールド・イノベータの進行について



■時間配分について



## ■ 当日運営の満足度について



■ CS研では、本年度は「キャンパス×DX」というテーマで勉強会や11月にワークショップを実施します。来年度も継続して同じテーマを予定していますが、来年度全体として実施してほしいイベント等がありますか？（一部省略・抜粋）

- 大学ネットワーク環境の整備・無線や有線などインフラ環境を今後どのレベルで維持更新していくか
- DXは時代と共に変化し続けると思うので、勉強会は毎年定期的で開催してほしい。
- アフターコロナにおける学びや大学業務の進化・・・結局のところDX。

■ CS研についてのご意見・ご要望について(一部省略)

- グループ分けを行うようなイベントがある場合、大学の規模に応じた配分をしてほしい。